

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している」

| 項目   | 前回（3年10月判断）   | 今回（4年1月判断）                      | 前回比較  |
|------|---|---------------------------------|---|
| 総括判断 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している |  |

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。

【各項目の判断】

| 項目   | 前回（3年10月判断）                       | 今回（4年1月判断）                           | 前回比較  |
|------|-----------------------------------|--------------------------------------|---|
| 個人消費 | 一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある            | 緩やかに持ち直している                          |   |
| 生産活動 | 一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している           | 一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している              |  |
| 雇用情勢 | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一進一退の状況にある | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる |  |
| 設備投資 | 3年度は前年度を上回る見込みとなっている              | 3年度は前年度を上回る見込みとなっている                 |  |
| 企業収益 | 3年度は増益見込みとなっている                   | 3年度は増益見込みとなっている                      |  |
| 住宅建設 | 前年を上回っている                         | 前年並みとなっている                           |  |
| 輸出   | 前年を上回っている                         | 前年を上回っている                            |  |

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

## 2. 各論

## 【主な項目】

## ■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では外出機会の増加に伴い、国内客の回復など持ち直しの動きがみられるほか、スーパーでは飲食料品を中心に売上が堅調に推移している。コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売は、住宅街などの店舗では売上が堅調に推移しているほか、都市部などの店舗では人出の増加に伴い、持ち直しの動きがみられる。ホームセンター販売は、DIY用品や園芸用品の需要等により売上が堅調に推移している。家電販売は、買替え需要に落ち着きが見られることから、足踏みの状況にある。乗用車の新車登録届出台数は、前年を下回っているものの、消費者の購買意欲は、堅調に推移している。旅行取扱の状況は、総じて厳しい状況が継続しているものの、国内旅行において近隣旅行を中心に持ち直しの動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 12月は、外出機会の増加に伴い客足が増加し、売上についても衣料品や高額商品を中心に前年を上回るなど回復傾向が続いた。こうしたなか、足下においては、感染再拡大の影響から客足が減少しつつあり、先行きは不透明な状況。(百貨店・大企業)
- 外食機会が増加している中でも、内食・中食需要が新しい生活様式として定着しつつあることから、売上は足下でも好調だった前年とほぼ同水準となっており、業況は好調を維持している。(スーパー・大企業)
- 観光地の店舗では厳しい状況が継続しているものの、オフィスや繁華街など都市部店舗では、人出の増加に伴い客足や売上が持ち直してきているほか、住宅街や郊外の店舗では売上が引き続き堅調に推移しており、全体として業況は改善傾向。(コンビニエンスストア・大企業)
- 日用品などでは前年の特需の反動がみられるものの、DIY用品や園芸用品などは、好調だった前年をさらに上回る水準となっているほか、外出機会の増加などによりキャンプ用品やレジャー用品も伸びてきており、売上全体としても好調を維持している。(ホームセンター・大企業)
- レジャー等に人が流れている影響もあってか、客足が伸び悩んでいるほか、前年の特別定額給付金による買替え需要の反動から、一般的に売上が落ち込んでおり、厳しい状況となっている。(家電量販店・大企業)
- 自動車生産の回復に伴い、足下で徐々にではあるが持ち直しの動きがみられているほか、客足についても引き続き堅調に推移している。(自動車販売店・中小企業)
- 海外旅行は回復には程遠い状況だが、国内旅行については、感染の落ち着きや各府県による住民向け観光支援施策等の効果もあって、近場の旅行を中心に持ち直してきている。(旅行代理店・中堅企業)
- 11月以降、時短要請が終わり通常営業となったほか、人流も本格的に回復したことから、好調な状態が続いており、売上は感染症拡大前の水準を上回っている。(飲食サービス・大企業)

## ■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している」

供給面での制約は一部残るものの、スマートフォンや5G基地局向けの半導体・電子関連部品等の需要が旺盛で、電気・情報通信機械等は堅調に推移している。また、世界的な設備投資需要の増加に伴い、汎用・業務用機械等も好調に推移している。

- 自動車や5G基地局向けに積層コンデンサの原材料等の機能材料が堅調に推移している。(化学・大企業)
- 半導体不足の影響はあるが、ゲーム機やスマートフォン向けの電子部品関連の需要が旺盛で、生産が増加している。(情報通信機械・大企業)
- eコマースの拡大や人手不足を背景にコンベヤーや仕分け装置などの需要が引き続き旺盛で、堅調な状態が続いている。(汎用機械・大企業)
- パワー半導体を中心とした旺盛な半導体需要を受け、各メーカーが設備増強に動いていることから、好調を維持するも、半導体製造装置に使用する部品等の納期遅延は、依然として継続している。(生産用機械・中堅企業)

## ■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる」

有効求人倍率は横ばいで推移しているものの、新規求人数は増加傾向にあり、完全失業率も低水準で推移するなど、雇用情勢は持ち直しの動きがみられる。

- 従業員は、職種に関わらず不足気味。求人募集を出しても応募はほとんどない。派遣労働者を雇って対応しているがそれでも人は足りていない。(金属製品・中小企業)
- 新規出店を進めていくことを考えると人手は不足しているが、コロナ禍以降足下において、休業や時短など不安定な面もあってか、応募が少ない状況が続いている。(飲食サービス・大企業)
- 宿泊やレストランの人手は適正になりつつあるが、宴会需要が戻ってきていないために従業員数は過剰気味である。(宿泊・中堅企業)

- **設備投資「3年度は前年度を上回る見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和3年10～12月期
  - 製造業では、輸送用機械などが前年度を下回っているものの、生産用機械、電気機械などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
  - 非製造業では、小売などが前年度を下回っているものの、建設、金融・保険などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 研究開発拠点の拡充、生産・物流体制の強化、基幹システム関係の投資などを計画。（生産用機械・大企業）  
 ➢ 物流関係が好調なことから、物流施設への投資額が増加。（建設・大企業）

- **企業収益「3年度は増益見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和3年10～12月期
  - 製造業では、輸送用機械などが減益となるものの、生産用機械、情報通信機械などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
  - 非製造業では、学術研究・専門サービス・技術サービスなどが減益となるものの、運輸・郵便、卸売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

- **住宅建設「前年並みとなっている」**
  - 新設住宅着工戸数でみると、分譲マンションが減少しているものの、貸家などが増加していることから、前年並みとなっている。

➢ マンション建設に向く好条件の用地が少なく、各社、取得競争が激しくなっている。（建設・大企業）

- **輸出「前年を上回っている」**
  - 管内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、アジア向けの半導体等電子部品や鉄鋼などが増加していることから、前年を上回っている。なお、輸入は、前年を上回っている。

【その他の項目】

- **企業の景況感** 法人企業景気予測調査（令和3年10～12月期調査）の景況判断BSIでみると、全産業では「上昇」超となっている。先行きについて、4年1～3月期は、全産業では「上昇」超の見通しとなっている。
- **公共事業** 前払金保証請負金額でみると、市町村や独立行政法人などで減少していることから、前年を下回っている。
- **金融** 貸出金残高は、前年並みとなっている。
- **消費者物価** 大阪市の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）でみると、教養娯楽などが上昇しているものの、交通・通信などが下落していることから、前年並みとなっている。
- **企業倒産** 倒産件数は、前年を下回っている。

3. 各府県の総括判断

|      | 前回（3年10月判断）   | 今回（4年1月判断）                                   | 前回比較 | 総括判断の要点  |
|------|---|--|------|--|
| 大阪府  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している              | ➡    | 個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は持ち直しの動きがみられる。             |
| 京都府  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある    | 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している | ➡    | 個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。 |
| 兵庫県  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している | 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している | ➡    | 個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は一部に供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は弱い動きとなっている。  |
| 奈良県  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している | 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している | ➡    | 個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。    |
| 和歌山県 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある    | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある             | ➡    | 個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。                      |
| 滋賀県  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直している                  | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している              | ➡    | 個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は回復しつつある。雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。                   |